

電子資料解題

## 医学中央雑誌 (医中誌 Web 版) について

安東 正子

### I. 成り立ちと変遷

医学中央雑誌は、国内医学文献の抄録誌として、1903年に医学者尼子四郎氏によって創刊された。当初は月1回発行、収載誌数64、文献数1,886で、科目別にまとめてあり写真や図なども掲載されて雑誌に近いものだったが、情報量の増加に伴い1983年よりコンピュータ編集を導入し、文献の電子的蓄積を開始した。

続いて1992年に CD-ROM 版の提供が開始され、データは1987年から1年分ずつディスクに収録、最新年度分は月毎に更新されるようになった。今は1年間のリース契約で過去3年分、6年分、フルセットと必要に応じて選ぶことができる。

冊子体は、1996年より索引誌に変更され、キーワード順に文献が配列された月刊誌、年初に主題編と著者名編に編集した年間累積索引が発行されていたが、2002年12月をもって中止となり、現在は年間累積版のみ発行されている。

Web による提供開始は2000年4月、医中誌 Web 版 Ver.1 では、複数年の文献検索が可能となり、2002年4月に開始のVer.2 では従来の Basic Mode の他に Advanced Mode が利用できるようになった。さらに2003年10月から Ver.3 にアップされ、1983年より全年分が一度に検索できる上に、いくつかの機能が備わった。2004年3月からはデータ更新が月2回になり、現在は Ver.3 が利用できる。(Ver.2 は3月31日、Ver.1 は8月31日にクローズした)

### II. 概要と特徴

医中誌は、前述のとおり現在 Web 版、CD-ROM 版、冊子体で提供されているが、ここでは主として医中誌 Web 版について紹介する。

医中誌 Web 版の概要を表1の通り示す。また Ver.3 の特徴としては以下のことが挙げられる。

#### 1) Pre 医中誌

通常データでは、原本の発行から検索可能になるまでのタイムラグが約4～6ヶ月ある

表1. 医中誌 Web 版の概要 (2004.8.16現在)

|               |  |
|---------------|--|
| 提供機関          | 特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会  |
| 対象分野          | 医学、薬学、歯学、および看護学、獣医学などの関連分野   |
| 検索対象年         | Ver.3 : 1983年～   |
| 収載誌数          | 2,360誌 (うち看護関係565誌)<br>改題、廃刊などを含めた収載誌総数 3,905誌   |
| 収録文献数         | Ver.3 : 5,249,572件<br>(うちPre医中誌 53,345件)   |
| 対象文献の種類       | 原著論文、症例報告、総説、解説、学会抄録・会議録など   |
| 抄録付与率         | 全文献の20% (原著論文は約90%)  |
| データベース        | 書誌事項、キーワード、医学用語シソーラス、研究デザイン等   |
| 検索方法          | BASIC MODE、ADVANCED MODE   |
| データ更新頻度       | 月2回  |
| 契約種別          | 法人向け「医中誌Web」 個人向け「医中誌パーソナルWeb」   |
| 年間利用料金 (法人価格) | 同時アクセス数2の場合 250,000円<br>※アクセス数が増える毎に料金もアップ<br>CD-ROM版 (スタンドアローン) フルセットとセットの場合 484,000円 |
| (個人価格)        | 一ヶ月6時間: 基本料金2,000円、1時間超える毎に800円<br>一ヶ月11時間: 基本料金4,000円、1時間超える毎に800円                    |

詳しくは医学中央雑誌刊行会のホームページでご覧下さい。  
URL <http://www.jamas.or.jp>

が、Pre 医中誌は最短1ヶ月で検索できる。ただし完成データではなく、書誌事項のみが収録され、文献番号も異なる(図1)。

2) 医学用語シソーラス

Advanced Mode の「候補語辞書の参照」で医学用語シソーラス第5版を参照することができ、完全一致検索の指定が可能となった(図2)。

3) 研究デザイン

EBM に応じた文献情報が的確かつ簡便に得られるよう研究デザインでの絞り込みができる

ようになった。2003年作成成分より該当する原著論文にメタアナリシス、ランダム化比較試験、比較臨床試験、比較研究のタグを付与している。また1999年分まで遡って、研究デザインのキーワードが付与されている文献にもタグ付けが行われ、約1万件に及んでいる(図3)。

Ⅲ. 利用状況と利用の留意点

ここで、実際の利用状況をみてみたい。利用件数は医中誌 Web アクセスログ閲覧機能を参考にした。当院はイントラネットで院内どの端末でも検索可能となっている。利用件数は、2003年4月に Web 版を導入してから1年間で総ログイン数1,908件(月平均159件)、アクセス数13,706件(月平均1,142件)であった。以前はCD-ROM版(スタンドアロン)を利用していたが、Web版導入により延べ利用件数が約5倍になった。身近で都合のよい時間に人目を気にせず検索できる環境が利用増加に功を奏していると考えられる。また、Web版の検索方法の簡便さや馴染みやすさ、個別指導の実施なども効果があったと考えられる。

CD-ROM版との比較では、CD-ROM版ではあらかじめ登録された用語で検索を行うため、

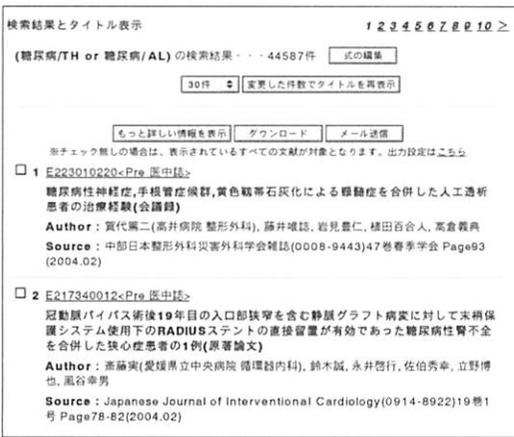


図1. Pre 医中誌の表示

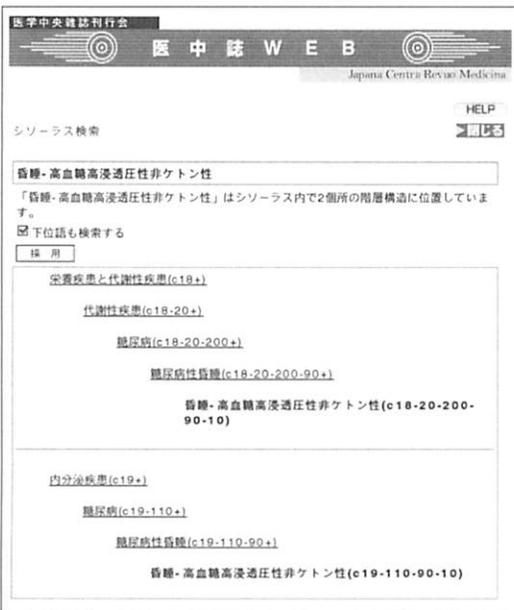


図2. シソーラスの参照

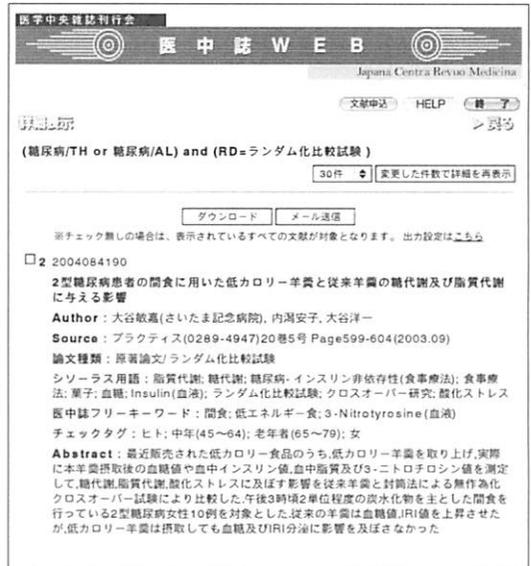


図3. 研究デザインのタグの付与

利用者は検索に適した用語やキーワードを考えなければならない。それに対し、Web 版は全文検索ができ、オートマッピング機能があるため、漏れのない検索結果が得られる利点がある。しかし、その分 Web 版では検索結果にノイズも多くなる。Web 版利用に際してはいかにしてノイズを取り除き、的確な文献をヒットさせるかが重要で、効率的な検索のためには利用指導が必要である。また、Web 版はインターネット環境に左右されるため安定性に欠ける。検索

スピードもCD-ROM 版に比べて遅く、夕方など利用が多い時間帯にはより遅くなる傾向がある。ただし、検索スピードに関しては改善に向けての試みがなされているようで近い将来解決されるかもしれない。

今のところ、安定性と検索スピードにおいては CD-ROM 版の方が勝り、検索画面や機能の多様さにおいては Web 版の方が優れている。各施設の環境に合わせた選択がなされることが望ましい。